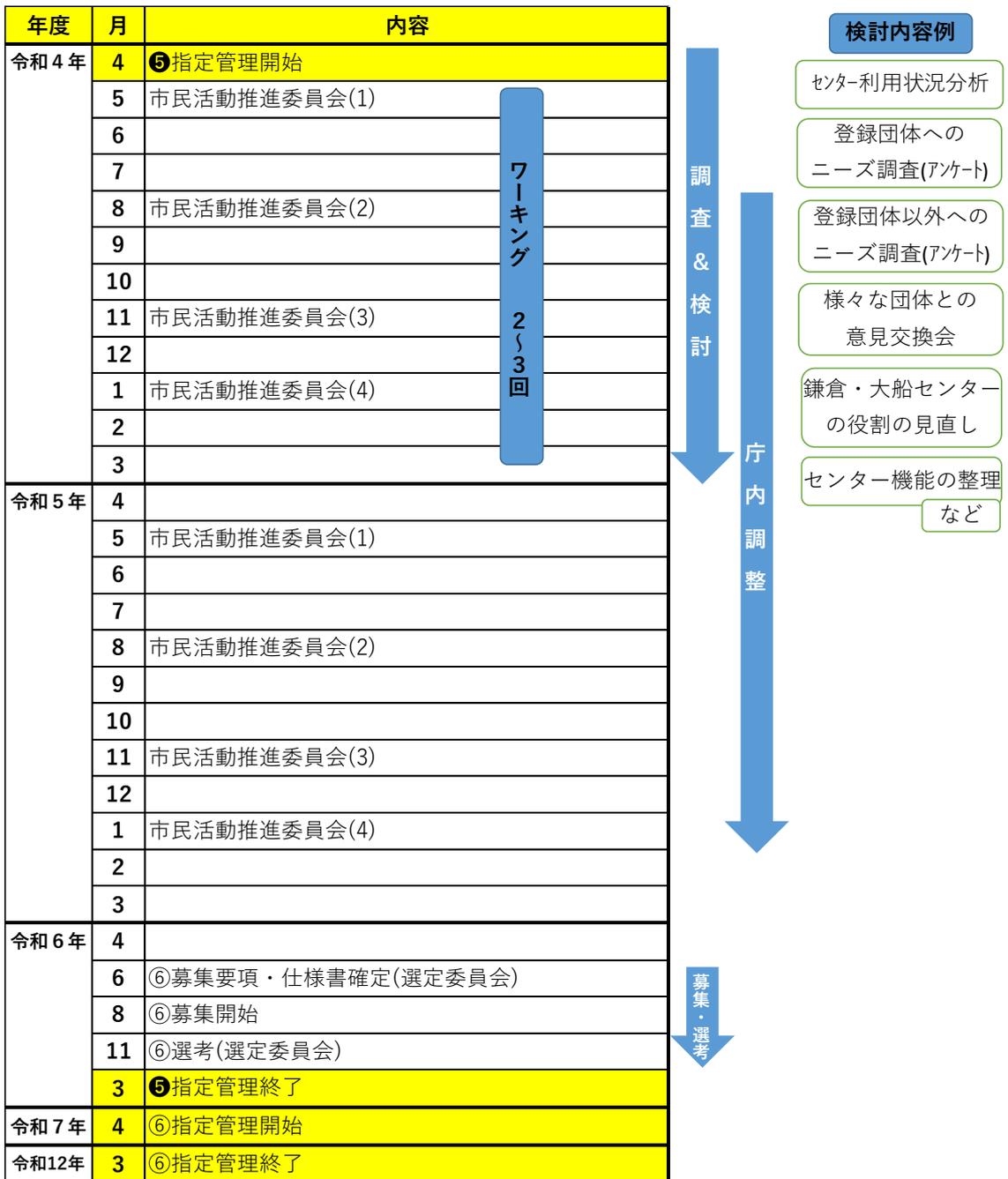


## 市民活動センターの在り方検討について

### ○ 在り方検討について

- ✓ 第5期市民活動センター指定管理者の募集については、指針を踏まえて「相談対応、コーディネート力、ICTの活用」を重視した形で募集を行った。
- ✓ 指針にある「中間支援組織の役割」を果たしていくため、市民活動センターの在り方の検討を行い、更なる市民活動センター機能の向上を図っていきたい。
- ✓ 現状の範囲（設備、指定管理料など）での在り方、今後（本庁舎移転後の現庁舎の活用の動向など）を見据えた在り方の両面から検討したい。

### ○ スケジュール



## ○ 検討内容（案）

### 1 センター利用状況分析

- ・登録団体のうちどの位の団体が会議室を利用しているのか。
- ・登録団体のうちどの位の団体がセンター施設（印刷、郵便、相談等）を利用しているのか。
- ・利用者の満足度（ハード面ソフト面）
- ・利用が集中する曜日・時間帯

### 2 登録団体へのニーズ調査

- ・センターに求めていること。
- ・センターに足りないと思う機能。

### 3 登録していない市民活動団体へのニーズ調査

- ・なぜセンターに登録していないか。（又は登録をやめたか）
- ・どのような機能がセンターにあれば登録したいと思うか。
- ・アンケートをどのように周知・お願いするか。

### 4 様々な団体との意見交換

- ・ワークショップ等で意見交換の場を設ける。
- ・センターの指定管理者との意見交換を行う。（支援の現場の状況や団体ニーズなど）

### 5 鎌倉・大船センターそれぞれの役割の見直し

- ・現在全く同じ機能（会議室、印刷、相談等）を鎌倉・大船センターに備えているが、そのままが良いのか、例えば相談機能をどちらかに集約してもう一方のセンターの使い方を見直すことでより効果的なセンター運営ができるのではないか、など。
- ・民間施設（コワーキングスペース等）との連携の可能性

### 6 現在のセンター機能と強化が必要な機能の整理

- ・現在の指定管理業務の範囲内で行えること、今後強化が必要と思われる機能の洗い出し。

### 7 その他